

問題【英語】

日本の落語文化は世界に進出しつつあり、近年では英語で落語を演じられることもあります。次の話は「英語ならではの短い落語」を少しアレンジしたのですが、この話のオチは何でしょう。

At a restaurant, a man ordered spaghetti and he waited for a long time. He called a waiter and asked, "Excuse me, how long will my spaghetti be?" The waiter answered, "I'm not really sure, but I think it's about 30 centimeters long."

注: order 注文する spaghetti スパゲッティ
waiter ウェイター centimeter センチメートル

豆知識 雑学コラム

英語でオチはどう作る？

落語を題材にした英文は、中学校の英語の中で取り上げられることと思います。教科書によって取り上げられる演目は異なりますが、よくある話は「まんじゅうこわい」や「時そば」でしょうか。どちらも主人公の企みを題材としているので、舞台や登場する物を変えれば英語でも十分通用するものになります。

しかし、落語家の大喜利でよくある謎かけはそのまま英訳できません。謎かけの最も重要なところは、オチの同音異義語です。一休さんの「このはしわたるべからず」は日本人には有名ですが、このトンチも橋の同音異義語として端があることで初めて成立します。しかし英語になってしまうと、bridge に橋の意味はあっても端の意味はないため、一休さんは桔梗屋さんに行けません。

では、英語に謎かけはどのようなものでしょうか。その一例が今回の英文です。英語の謎かけは、「同じ単語や熟語を、異なる意味で解釈する」ことによって成立しています。問題文では、男性は「スパゲッティはどれくらいかかるのか」と時間を聞いているのに、ウェイターは「30センチくらい」と長さを答えていましたね。私たちは期間の長さを聞くときに how long を使うことを習いますが、ロープなど具体的な物の長さなどを聞くときにも how long を使います。このように意味の取り方が異なるため、オチができるのです。

英語での謎かけは、単語や表現が少なくとも二つの意味をもっていることを知るのに役立ちます。謎かけを通して多義語を知っていくことも大事ですが、このようなオチを日本語に訳すと、どう訳しても会話や文章が不自然になってしまいます。日本語での意味を知っていくのも大事ですが、日本語に訳すことなく英文を理解できるようにしていけるようにしたいですね。そうなると、英文を読むスピードが格段に速くなります。

【解答】

男性はスパゲッティがどれくらいかかるまでの時間を聞いているが、ウェイターはスパゲッティの長さを答えた。